

# 面的評価支援システム

操作マニュアル（別冊）

道路横断面図作成編

Ver4.0.0

平成 28 年 3 月



環境省水・大気環境局自動車環境対策課

## はじめに

「面的評価支援システム操作マニュアル（別冊）道路横断面図作成編」は、道路横断面の作成において参考となる道路横断面図の作成例を記述したマニュアルです。

## 目次

I	道路横断面パーツ .....	5
	1. 道路横断面作成パーツ .....	6
II	道路横断面作成例及び注意事項 .....	7
	1 道路横断面の作成例 .....	8
	2 道路横断面図作成における注意事項 .....	8
III	道路横断面作成例 .....	11
	1 道路横断面作成例 .....	12
	1-1 平面 .....	12
	1-2 平面+環境施設帯+側道 .....	13
	1-3 平面+高架 .....	14
	1-4 高架 .....	15
	1-5 盛土 .....	16
	1-6 盛土+副道 .....	17
	1-7 掘割 .....	18
	1-8 掘割+副道 .....	19
	1-9 盛土+掘割 .....	20
IV	横断面図における測定地点の詳細及び略図作成例 .....	21
	1 測定地点を詳細に表現した場合（測定地点の地盤高と車道の地盤高に高低差がある場合） .....	22
	2 測定地点を簡易的に表現した場合 .....	23



## I 道路横断面パーツ

---

# 1. 道路横断面作成パーツ

道路横断面作成に必要なパーツと設定内容を下表に示します。

表 1-1 道路横断面のパーツ及び設定内容

パーツ名称	パーツ特性	入力タイプ	設定候補項目	デフォルト値	入力有効数	備考
幹線道路 側道・副道	車線数	選択	1車線~6車線	2車線	2車線	
	幅員(m)	入力・選択	2.75, 3.00, 3.25, 3.50	2.75	少数第2位	
	路面の種類	選択	密粒舗装 排水性舗装	密粒舗装		
	音源	選択	中央, 左, 右, 無	中央		
	施工後年数	選択	0年, 1年, 2年, 3年, 4年, 5年以上	0年		
	構造音源(m)	入力・選択	無, 1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 3.0m	1	少数第2位	
中央帯 歩道 路肩 分離帯 側帯 空き地等	幅員(m)	入力		1	少数第2位(0.01m)	
	路面の種類	選択	コンクリート, アスファルト やわらかい畑地 草地 固い地面	コンクリート, アスファルト		
	縁石	選択	有, 無	無		
斜面等	幅員(m)	入力		2.00	少数第2位(0.01m)	
	高さ(m)	入力		1.00	少数第2位(0.01m)	
	地表面の種類	選択	コンクリート, アスファルト やわらかい畑地 草地 固い地面	固い地面		
	吸音率(%)	入力		2.0		地表面種類がコンクリート, アスファルトの場合、2%。芝地・草地の場合、100%を標準とし、すべて入力変更可とする。
	反射音補正(dB)	入力		0	少数第1位	
掘削	高さ(深さ)(m)	入力		5.00	少数第2位(0.01m)	
	掘削側壁吸音対策	選択	無, 有	無		
	吸音率(%)	入力			少数第1位	「掘削側壁吸音対策」が「有」の場合85.0、「無」の場合、2.0(固定)
	有限長補正(dB)	入力		0.0	少数第1位	
壁等	幅(m)	入力		0.1		
	高さ(m)	入力		2		
	障壁の種類	選択	従来型(直壁) ノイズデューサー 大型分岐 土工部用分岐 橋梁部用分岐 張り出し3m 張り出し5m	従来型(直壁)		
	張り出し長さ(m)	入力		障壁の種類による 従来型(直壁)(0.0) ノイズデューサー(1.5) 大型分岐(1.5) 土工部用分岐(1.0) 橋梁部用分岐(0.0) 張り出し3m(3.0) 張り出し5m(5.0)	少数第1位	
	壁材/吸音率(%)	選択・入力	統一型遮音壁 金属板 アクリル板 その他	75 0 0 0	少数第1位	吸音対策無しの場合、0%。有りの場合、75%(標準)又は入力変更可とする。 複数障壁の場合は、代表の壁材を選択し、吸音率は壁全体の平均吸音率を求めて設定する。 (平均吸音率) = (壁1の吸音率 × 壁1の高さ + ... + 壁nの吸音率 × 壁nの高さ) / (壁n個の合計高さ)
	空隙補正(dB)	入力		0		
植樹帯	場所	選択	全体, 中央, 左, 右			
	幅(m)	入力		土台となるパーツの幅員	少数第2位	
	高さ(m)	入力	1~5	1.00	少数第2位	
	植栽個数	選択	1~6	1	整数	
	吸音補正(dB)	入力		0	少数第1位	通常は、0mとし、必要な場合に入力変更可とする。
高架	高さ(m)	入力・選択	8, 11	8	少数第2位	
	種類	選択	鋼橋: 鋼床版鋼箱桁橋 鋼橋: コンクリート床版鋼箱桁橋 鋼橋: コンクリート床版鋼板桁橋 コンクリート橋: I桁 コンクリート橋: I桁以外	鋼橋: 鋼床版鋼箱桁橋		
	右側高欄高さ(m)	入力		1.0	少数第1位	1.0mを標準とし、入力変更可とする。
	左側高欄高さ(m)	入力		1.0	少数第1位	1.0mを標準とし、入力変更可とする。
	高架裏面吸音板	選択	無, 有	有		
	吸音率(%)	入力		90	少数第1位	裏面吸音板が有る場合、入力可とする。

## II 道路横断面作成例及び注意事項

---

## 1 道路横断面の作成例

下記の作成例を「3. 道路横断面図作成例」の①～⑨に示します。

- ① 平面の場合
- ② 平面+環境施設帯+側道の場合
- ③ 平面+高架の場合
- ④ 高架の場合
- ⑤ 盛土の場合
- ⑥ 盛土+副道の場合
- ⑦ 掘割の場合
- ⑧ 掘割+副道の場合
- ⑨ 盛土+掘割の場合

## 2 道路横断面図作成における注意事項

道路横断面図のパーツの各設定の必要事項を下表に示します。

表 2-1 道路横断面図作成時の必要事項

パーツ名称	パーツ特性	○:必要 △:適宜	パーツ名称	パーツ特性	○:必要 △:適宜
・幹線道路 ・側道 ・副道	車線数	○	・壁等	幅(m)	○
	幅員(m)	○		高さ(m)	○
	路面の種類	○		張り出し長さ(m)	○
	上下区分	○		障壁の種類	○
	音源	○		壁材/吸音率(%)	△
	施工後年数	○		有限長・空隙補正(dB)	△
	構造音源(m)	○			
・中央帯 ・歩道 ・路肩 ・分離帯 ・側帯 ・空き地等	幅員(m)	○	・植樹帯	場所	△
	路面の種類	○		幅(m)	△
	縁石	△		高さ(m)	△
				植栽個数	△
・斜面等	幅員(m)	○	・高架	吸音補正(dB)	△
	高さ(m)	○		高さ(m)	○
	地表面の種類	○		種類	○
	吸音率(%)	△		右側高欄高さ(m)	○
	反射音補正(dB)	△		左側高欄高さ(m)	○
・掘割	高さ(深さ)(m)	○	高架裏面吸音板	○	
	掘割側壁吸音対策	△	吸音率(%)	△	
	吸音率(%)	△			
	有限長補正(dB)	△			

パーツごとの設定事項を下記に示します。

- ① 中央帯・歩道・路肩等  
 ・縁石  
 縁石の高さは考慮していません。
- ② 斜面等  
 斜面の吸音率と吸音補正は適宜に設定しますが、標準として地表面種類がコンクリート・アスファルトの場合は2%とし、芝地・草地の場合は100%とします。
- ③ 掘割  
 掘割側壁吸音対策がなされていない場合は2%とし、それ以外は適宜入力します。
- ④ 壁等  
 ・吸音率  
 吸音率のデフォルト値は、[壁材]の種類が吸音型の場合75%、吸音型でない場合は0%としています。また、吸音対策がある場合は入力値を変更可能です。
- 壁の平均吸音率の算出方法
- $$(\text{平均吸音率}) = (\text{壁1の吸音率} \times \text{壁1の高さ} + \dots + \text{壁nの吸音率} \times \text{壁nの高さ}) / (\text{壁n個の合計高さ})$$
- ・有限長・空隙補正  
 壁(遮音壁等)の有限長・空隙補正は標準として0であり、必要に応じて入力変更可能です。
- ⑤ 植樹帯  
 植樹帯については吸音補正を通常0としているため、特に断面図に記入する必要性は少ないです。しかし、植樹帯が大きく遮音効果がある場合は必要に応じて記入し補正值を入力する。
- ⑥ 高架  
 高架を建てるときは必ず中央帯のパーツを利用して土台を作成し、その上に高架を建ててください。  
 高架の左右の高欄の高さについては、標準として1mとしています。  
 裏面吸音板がある場合のみ吸音率が入力可能となります。

## II 道路横断面作成例及び注意事項



### Ⅲ 道路横断面作成例

---

# 1 道路横断面作成例

道路横断面作成例を道路構造毎に①～⑨に示す。

## 1-1 平面

The screenshot displays the '道路横断面' (Road Cross-section) software interface. The main window shows a plan view of a road cross-section with a total width of 25.30m. The components and their widths from left to right are: 歩道 (3.00m), 路肩 (1.40m), 一般国道10号 下り 2車線 (3.20m), 中央帯 (3.40m), 一般国道10号 上り 2車線 (2.70m), 路肩 (3.60m), 歩道 (4.00m), and 歩道 (3.30m). The road is labeled '一般国道10号' (General National Route 10).

Four property windows are open, each with a red arrow pointing to a specific component in the main view:

- 歩道 (Sidewalk):** Width (m) is 3.3. The '縁石' (Curbstone) is set to '有' (Yes). The '路面種類' (Pavement type) is 'コンクリート、アスファルト' (Concrete, Asphalt). The 'テキスト入力' (Text input) field contains '歩道'.
- 車線部 (車線道路) (Lane Section (Lane Road)):** The '反映させる路線' (Route to reflect) is '一般国道10号'. The '車線数' (Number of lanes) is 2. The '車線の上下区分' (Lane direction) is '下り' (Downhill). The '音源' (Sound source) is '中央' (Center). The '幅員 (m)' (Width) for '車線1' (Lane 1) is 3.20 and for '車線2' (Lane 2) is 3.40. The '路面種類' (Pavement type) is '排水性舗装' (Permeable pavement). The '施工後年度数' (Years after construction) is 0. The 'テキスト入力' (Text input) field contains '一般国道10号 下り 2車線'.
- 分離帯 (Median):** Width (m) is 1. The '縁石' (Curbstone) is set to '有' (Yes). The '路面の種類' (Pavement type) is 'コンクリート、アスファルト' (Concrete, Asphalt). The 'テキスト入力' (Text input) field contains '分離帯'.
- 路肩 (Shoulder):** Width (m) is 0.8. The '縁石' (Curbstone) is set to '有' (Yes). The '路面の種類' (Pavement type) is 'コンクリート、アスファルト' (Concrete, Asphalt). The 'テキスト入力' (Text input) field contains '路肩'.

1-2 平面+環境施設帯+側道

The image displays a software interface for creating a road cross-section. The central part of the screen shows a cross-section diagram with a central road (一般国道10号 下り 3車線) and various side elements like sidewalks (歩道), planting zones (植樹帯), and noise barriers (壁等). The diagram includes a horizontal axis with distances in meters (0 to 45) and a vertical axis with a height of 5.00 meters. Red arrows point from several configuration windows to their corresponding elements in the diagram.

The configuration windows are as follows:

- 歩道 (Sidewalk):** Width (幅) 2m, Surface (路面の種類) コンクリート、アスファルト, Text input (テキスト入力) 歩道.
- 植樹帯 (Planting Zone):** Width (幅) 7m, Height (高さ) 1m, Planting value (植樹値数) 1, Noise correction (吸音補正) 0dB, Text input (テキスト入力) 植樹帯.
- 側道 (Side Road):** Width (幅) 0.5m, Surface (路面の種類) コンクリート、アスファルト, Text input (テキスト入力) 側道.
- 車道部(側道・副道) (Road Section):** Lane count (車線数) 1, Lane width (幅) 2.75m, Surface (路面の種類) 密粒舗装, Construction year (施工後年度数) 0年, Text input (テキスト入力) 側道・副道 下り 1車線.
- 植樹帯 (Planting Zone):** Width (幅) 7m, Height (高さ) 1m, Planting value (植樹値数) 1, Noise correction (吸音補正) 0dB, Text input (テキスト入力) 植樹帯.
- 壁等 (Noise Barrier):** Width (幅) 0.1m, Height (高さ) 5m, Barrier type (障壁の種類) 張り出し3m, Text input (テキスト入力) 遮音壁.
- 空き地帯 (Open Space):** Width (幅) 7m, Surface (路面の種類) コンクリート、アスファルト, Text input (テキスト入力) 環境施設帯.
- 路肩 (Shoulder):** Width (幅) 0.5m, Surface (路面の種類) コンクリート、アスファルト, Text input (テキスト入力) 路肩.
- 中央帯 (Center Strip):** Width (幅) 1m, Surface (路面の種類) コンクリート、アスファルト, Text input (テキスト入力) 中央帯.
- 車道部(幹線道路) (Main Road Section):** Lane count (車線数) 3, Lane width (幅) 2.75m, Surface (路面の種類) 排水性舗装, Construction year (施工後年度数) 0年, Text input (テキスト入力) 一般国道10号 下り 3車線.

### III 道路横断面作成例

#### 1-3 平面+高架

The image shows a software interface for creating a road cross-section. The main window displays a plan view of a road with various elements and dimensions. The road width is 47.00m. The cross-section shows a central road with two lanes (高瀬神戸西宮線 下り 2車線 and 高瀬神戸西宮線 上り 2車線) and two overpasses (高架) on either side. The road is flanked by sidewalks (歩道) and green spaces (緑地帯). The vertical axis shows elevations, with the road surface at 2.00m and the overpass at 12.00m (11.00m above the road surface). The horizontal axis shows distances from the centerline, with 0m at the center and 47.00m at the outer edge.

Several dialog boxes are open, each with red arrows pointing to specific features in the main view:

- 高架 (Overpass):** Located at the top right, it shows parameters for the overpass structure, including height (高さ(m): 12), type (種類: 鋼橋:コカク1床版鋼箱桁橋), and noise reduction (吸音率00: 0).
- 壁等 (Wall):** Located at the top right, it shows parameters for the wall, including width (幅(m): 0.1), height (高さ(m): 2.5), and noise reduction (吸音率00: 75).
- 緑地帯 (Green Space):** Located at the bottom left, it shows parameters for the green space, including width (幅(m): 5) and height (高さ(m): 1).
- 歩道 (Sidewalk):** Located at the bottom right, it shows parameters for the sidewalk, including width (幅(m): 4) and surface type (路面の種類: コンクリート, アスファルト).
- 分譲等 (Plot):** Located at the bottom center, it shows parameters for the plot, including width (幅(m): 1) and surface type (路面の種類: コンクリート, アスファルト).
- 路肩 (Shoulder):** Located at the middle left, it shows parameters for the shoulder, including width (幅(m): 2) and surface type (路面の種類: コンクリート, アスファルト).
- 植樹帯 (Planting Strip):** Located at the middle left, it shows parameters for the planting strip, including width (幅(m): 5) and height (高さ(m): 1).
- 道路部線形道路 (Road Section Linear Road):** Located at the top left, it shows parameters for the road section, including height (高さ(m): 12) and construction material (構造物音源(m): 1.00).

1-4 高架

The image displays a software interface for creating a road cross-section, specifically a bridge. The central diagram shows a bridge with two lanes, labeled '一般国道10号 下り 1車線' and '一般国道10号 上り 1車線'. The bridge height is 8.00m, and the total width is 8.00m. The diagram includes labels for '道路敷地境界' (road site boundary), '透音壁' (sound barrier), and '空地等' (open space).

Surrounding the diagram are several 'プロパティ' (Property) windows for different elements:

- Top Left (Central Area):**
  - Object: 中央帯 (Central Area)
  - Green Stone: 有 (Yes)
  - Width (m): 1
  - Surface Type: コンクリート、アスファルト (Concrete, Asphalt)
  - Text Input: 中央帯
- Top Right (Bridge Deck):**
  - Object: 車道部(車線道路) (Roadway (Lane Road))
  - Bridge Height (m): 8
  - Structure Source (m): 1.00
  - Reflect Road: 一般国道10号
  - Lane Count: 1
  - Direction: 上り (Up)
  - Sound Source: 中央 (Center)
  - Width (m): 3.00
  - Surface Type: 密粒舗装 (Dense Gravel Pavement)
  - Construction Year: 0年 (0 years)
  - Surface Sound Absorption: 無 (None)
  - Absorption Rate (%): 0
  - Text Input: 一般国道10号 下り 1車線
- Middle Left (Open Space):**
  - Object: 空地等 (Open Space)
  - Green Stone: 有 (Yes)
  - Width (m): 2
  - Surface Type: コンクリート、アスファルト (Concrete, Asphalt)
  - Text Input: 空地等
- Middle Right (Sound Barrier):**
  - Object: 壁等 (Wall etc.)
  - Width (m): 0.1
  - Height (m): 1
  - Type: なし (None)
  - Text Input: 透音壁
- Bottom Left (Central Area):**
  - Object: 中央帯 (Central Area)
  - Green Stone: 有 (Yes)
  - Width (m): 4
  - Surface Type: コンクリート、アスファルト (Concrete, Asphalt)
  - Text Input: 中央帯
- Bottom Right (Bridge Structure):**
  - Object: 高架 (Overpass)
  - Height (m): 8
  - Type: 鋼橋:鋼床版鋼箱桁橋 (Steel Bridge: Steel Deck Box Girder Bridge)
  - Left Side Height (m): 1
  - Right Side Height (m): 1
  - Surface Sound Absorption: 無 (None)
  - Absorption Rate (%): 0
  - Text Input: 高架

1-5 盛土

The screenshot displays a road cross-section software interface. The main window shows a road profile with a total width of 42.40m. The profile is divided into several sections: two shoulders (路肩) of 6.00m each, two sidewalks (歩道) of 5.10m each, two lanes (車線) of 3.50m each, and a central median (中央帯) of 3.00m. The road is labeled as '一般国道10号' (General National Route 10). The profile is shown on a grid with a vertical scale of 6.00m. The interface includes several property windows (プロパティ) for editing different elements:

- 路肩 (Shoulder):** Width (幅) 0.8m, Surface type (路面の種類) コンクリート、アスファルト.
- 斜面 (Slope):** Width (幅) 6.0m, Height (高さ) 6.0m, Surface type (地表面の種類) コンクリート、アスファルト.
- 分離帯 (Median):** Width (幅) 1.0m, Surface type (路面の種類) コンクリート、アスファルト.
- 歩道 (Sidewalk):** Width (幅) 4.0m, Surface type (路面の種類) コンクリート、アスファルト.

The right side of the interface shows a detailed property window for the road section, including options for lane count (車線数), lane width (幅), surface type (路面種類), and construction year (施工後年度数).

1-6 盛土+副道

The image displays a software interface for creating a road cross-section. The central part shows a profile view of a road with various components labeled: 斜面 (Slope), 歩道 (Sidewalk), and 副道 (Shoulder). The main road is labeled 一般国道10号 (General National Route 10). The profile shows a central roadway with shoulders on both sides, and sidewalks further out. Dimensions are indicated along the horizontal axis (0 to 40) and vertical axis (6.00).

Four property windows (プロパティ) are open, detailing settings for different components:

- 車道部(斜線:道路) (Main Road):**
  - 反映させる路線を選択してください (Select the route to be reflected): 一般国道10号
  - 車線数 (Lane count): 1
  - 車線の上下区分 (Lane direction): その他 (Other)
  - 音源 (Sound source): 中央 (Center)
  - 幅員 (m) (Width): 3.40
  - 路面種類 (Road surface type): 密粒舗装 (Dense granular pavement)
  - 施工後年度数 (Years after construction): 0年
  - テキスト入力 (Text input): 一般国道10号, 上り 1車線
- 歩道 (Sidewalk):**
  - 幅員 (m) (Width): 4
  - 路面の種類 (Road surface type): コンクリート、アスファルト (Concrete, Asphalt)
  - テキスト入力 (Text input): 歩道
- 斜面等 (Slope etc.):**
  - 幅 (m) (Width): 6
  - 高さ (m) (Height): 6
  - 地表面の種類 (Ground surface type): コンクリート、アスファルト (Concrete, Asphalt)
  - 吸音率 (Sound absorption coefficient): 0
  - 反射音補正 (dB) (Reflection sound correction): 0
  - テキスト入力 (Text input): 斜面
- 路肩 (Shoulder):**
  - 幅員 (m) (Width): 0.8
  - 路面の種類 (Road surface type): コンクリート、アスファルト (Concrete, Asphalt)
  - テキスト入力 (Text input): 路肩

Red arrows point from the property windows to the corresponding elements in the cross-section diagram.

1-7 掘削

The screenshot shows a software interface for creating a road cross-section. The main window, titled '道路横断面' (Road Cross-section), displays a profile with various lanes and dimensions. The total width is 19.75 units. From left to right, the segments are: 1.40 (shoulder), 3.20 (excavation), 3.40 (excavation), 2.70 (center strip), 3.60 (excavation), 4.00 (excavation), and 1.40 (shoulder). The road is labeled as '一般国道10号 下り 2車線' (General National Route 10 Down 2 lanes) and '一般国道10号 上り 2車線' (General National Route 10 Up 2 lanes). The center strip is labeled '中央帯'. The profile is shown with a 5.00m depth for the excavation. Three property windows are open, showing settings for 'コンクリートブロック積み(掘削)', '路肩', and '中央帯'. A fourth property window on the right is for '車道部(4車線道路)'. The interface includes a toolbar at the top with icons for grid, zoom, pan, and text, and buttons for '全体表示' (Full view) and '画面クリア' (Clear screen).

1-8 掘削+副道

The image displays a software interface for creating a road cross-section. The central part of the screen shows a profile view of a road with various components labeled: 歩道 (sidewalk), 副道 (shoulder), 斜面 (slope), 路肩 (shoulder), 一般国道10号 下り 2車線 (General National Route 10 Down 2 lanes), 中央帯 (median), 一般国道10号 上り 2車線 (General National Route 10 Up 2 lanes), and 路肩 (shoulder). The profile is plotted on a horizontal axis with markers at 0, 5, 10, 15, 20, 25, and 30. A vertical axis on the right indicates a height of 5.0. Several property windows (プロパティ) are open, each detailing the settings for a specific component:

- 歩道 (Sidewalk):** 緑石 (Green stone) checked, 幅員(m) (Width) 1, 路面種類 (Surface type) コンクリート、アスファルト (Concrete, Asphalt). Includes a text input field for '歩道'.
- 斜面等 (Slopes):** 幅員(m) 1, 高さ(m) (Height) 5, 地表面の種類 (Surface type) コンクリート、アスファルト, 吸音率(%) (Absorption rate) 0, 反射音補正(dB) (Reflection correction) 0. Includes a text input field for '斜面'.
- 車道部(幹線道路) (Main Roadway):** 反映させる路線を選択してください (Select a route to reflect), 一般国道10号. 車線数 (Lane count) 2. 車線の上下区分 (Lane direction) その他 (Other). 音源 (Sound source) 中央 (Center). 車線1 (Lane 1) 幅員(m) 3.20, 路面種類 排水性舗装 (Permeable pavement). 車線2 (Lane 2) 幅員(m) 3.40, 路面種類 排水性舗装. Includes a text input field for '一般国道10号 下り 2車線'.
- 掘削+副道 (Excavation + Shoulder):** 車線数 1. 車線の上下区分 その他. 音源 中央. 車線1 幅員(m) 2.75, 路面種類 密粒舗装 (Dense granular pavement). Includes a text input field for '掘削+副道 下り 1車線'.
- 中央帯 (Median):** 緑石 checked, 幅員(m) 2.7, 路面種類 コンクリート、アスファルト. Includes a text input field for '中央帯'.
- 路肩 (Shoulder):** 緑石 unchecked, 幅員(m) 1.4, 路面種類 コンクリート、アスファルト. Includes a text input field for '路肩'.

Buttons for '登録' (Register) and 'キャンセル' (Cancel) are present in each property window. The main interface also has '全体表示' (Full view) and '画面クリア' (Clear screen) buttons.

### III 道路横断面作成例

#### 1-9 盛土+掘削

The image displays a software interface for creating a road cross-section. The central part of the screen shows a profile view of a road with various elements labeled: 道路敷地境界 (Road site boundary), 斜面 (Slope), 歩道 (Sidewalk), 一般国道10号 下り 2車線 (General National Route 10 Down 2 lanes), 一般国道10号 上り 2車線 (General National Route 10 Up 2 lanes), 斜面 (Slope), and 空地地等 (Open land). The profile is plotted on a horizontal axis with a scale from 0 to 35 and a vertical axis with a scale of 5.00. A red triangle is positioned at the 15 mark on the horizontal axis. The top of the profile is labeled '上り側' (Up side).

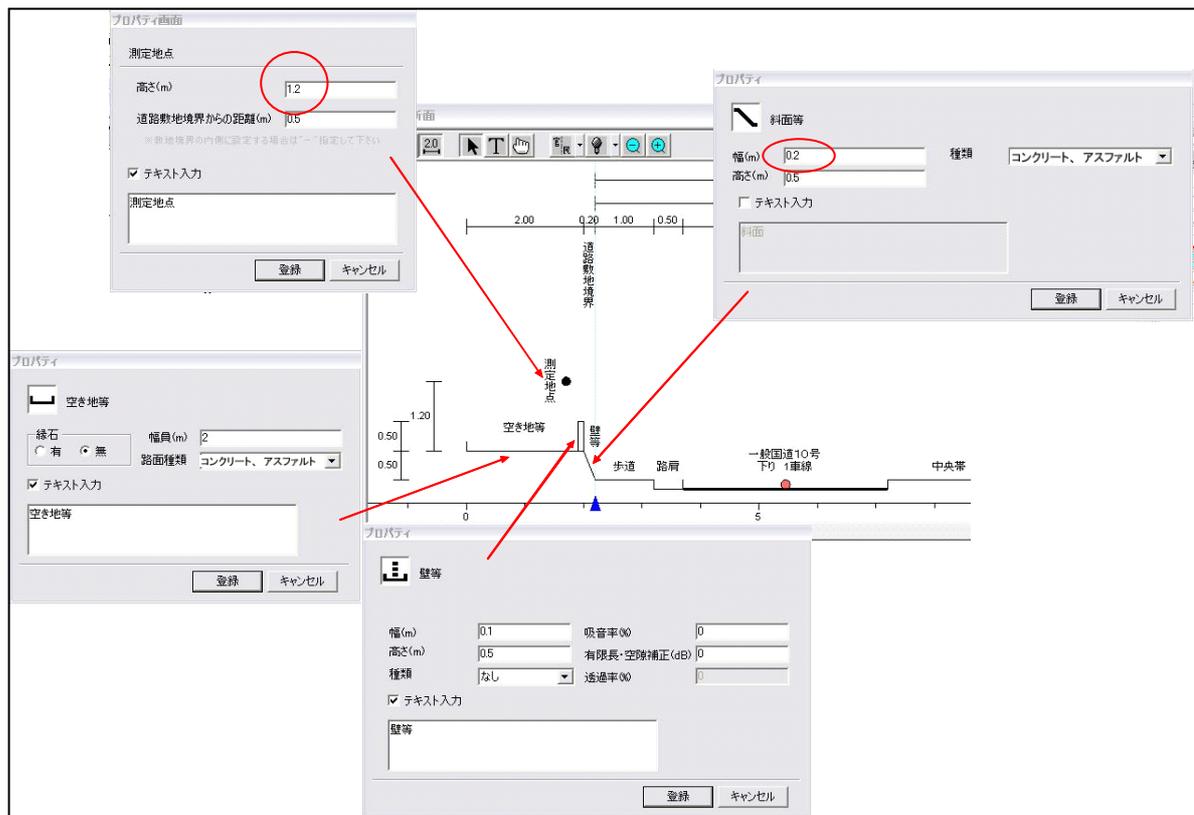
Four property windows (プロパティ) are open, each with red arrows pointing to specific features on the profile:

- Top-left window (歩道):** Properties for the sidewalk. Width (幅) is 3m. Surface type (路面種類) is 'コンクリート、アスファルト'. It includes a 'テキスト入力' (Text input) field containing '歩道'.
- Bottom-left window (斜面等):** Properties for the slope. Width (幅) is 3m, height (高さ) is 5m. Surface type (地表面の種類) is 'コンクリート、アスファルト'. It includes a 'テキスト入力' (Text input) field containing '斜面'.
- Bottom-center window (路肩):** Properties for the shoulder. Width (幅) is 0.5m. Surface type (路面種類) is 'コンクリート、アスファルト'. It includes a 'テキスト入力' (Text input) field containing '路肩'.
- Right window (車道部):** Properties for the roadway. It is set for '一般国道10号' (General National Route 10). It includes fields for '車線数' (2 lanes), '車線の上下区分' (Other, Up, Down), '音源' (Central, Left, Right, None), and width (幅) for '車線1' (3.20m) and '車線2' (3.40m). It includes a 'テキスト入力' (Text input) field containing '一般国道10号 下り 2車線'.

## IV 横断面図における測定地点の詳細及び 略図作成例

---

1 測定地点を詳細に表現した場合（測定地点の地盤高と車道の地盤高に高低差がある場合）



## 2 測定地点を簡易的に表現した場合

プロパティ

空き地等

緑石  有  無 幅員(m) 2 路面種類 コンクリート、アスファルト

テキスト入力

空き地等

登録 キャンセル

プロパティ画面

測定地点

高さ(m) 1.7

道路敷地境界からの距離(m) 0.5

※敷地境界の内側に設定する場合は「-」指定して下さい

テキスト入力

測定地点

登録 キャンセル

プロパティ

壁等

幅(m) 0.1 吸音率(%) 0

高さ(m) 0.5 有限長・空隙補正(dB) 0

種類 なし 透過率(%) 0

テキスト入力

壁等

登録 キャンセル

実際の空き地部分の高さ 50cm + 測定高さ 1.2m = 路面からの高さ 1.7m

実際は空き地部分が 50cm あがっている

\* 空き地部分の高低差を無くして、測定位置（マイクロホン位置）は変えず表現した。